

船舶事故等調査報告書

平成22年2月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009門第87号	
事故等種類	運航阻害	
発生日時	平成21年5月4日 11時12分ごろ	
発生場所	大分県杵築市狩宿所在の臼石鼻灯台から南2.2海里付近 (概位 北緯33°22.2′ 東経131°42.1′)	
事故等調査の経過	平成21年6月8日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 旅客船 ドリームアクアマリン、51トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 131410、大分ホーバーフェリー株式会社</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、五級海技士（航海） 機関長、乗組省略（乗組み基準特例） 運航管理者、52歳、経験年数3年</p>	
死傷者等	なし	
損傷	左舷浮上用主機の過給機（以下「本件過給機」という。）ブロワ側の、羽根が一部破損、ケーシングに接触痕、軸受ハウジングが一部破損	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか1人が乗り組み、旅客32人を乗船させ、大分県別府湾を航行中、平成21年5月4日11時00分ごろ、左舷浮上用主機の排気温度が上昇したため、主機を停止して点検したところ、本件過給機のブロワ側が損傷していた。</p> <p>本船は、旅客を代替え船に移乗させたのち、右舷浮上用主機のみで自力航行して基地に戻り、修理された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 北東、風速 2～3m/s、視界 良好</p> <p>海象：波高 約0.2m</p>	
その他の事項	本件過給機のブロワ側軸受ハウジングの取り付けボルトが緩んでいた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本件過給機は、ブロワ側軸受ハウジングの取り付けボルトが緩んだため、タービン軸の軸芯が狂い、ブロワ側の羽根とケーシングが接触するとともに、同ハウジングが一部破損したものと考えられる。</p> <p>ブロワ側軸受ハウジングの取り付けボルトが緩んだのは、主機運転時の振動による可能性があると考えられる。</p> <p>定期的に行う点検において、整備員が、テストハンマー等により、過給機のボルトの締め具合を確認していれば、本インシデントは防止できた可能性があると考えられる。</p>
原因	本インシデントは、本船が別府湾を航行中、本件過給機のブロワ側軸受	

	<p>ハウジングの取り付けボルトが緩んだため、タービン軸の軸芯が狂い、ブロワ側の羽根とケーシングが接触したことにより発生したものと考えられる。</p>
備考	<p>船舶所有者は、本件過給機のブロワ側軸受ハウジングの取り付けボルトをワイヤーロック式のものに変更するとともに、就業前後の点検項目に同ボルトを加えることにした。</p>